

# 犬山市「道の駅エリア」基本計画 かわらばん

<理想を100としたとき道の駅は可能性を広げる第1歩となる>

Vol.1

市では現在、道の駅の整備を目指して、道の駅エリア基本計画を策定しています。このたび「かわらばん」の第1号として、これまでの取り組みと、市の将来的な展望についてお知らせいたします。

## 1. どうして道の駅なの？

市では平成28年度に第5次総合計画、都市計画マスタープランを改訂し、交通利便性に優れ、都市的な土地利用への転換をまとまった広がりで見守ることができる橋爪・五郎丸地区を新たな都市拠点、地区拠点、交流エリアとして位置づけました。

これを受け、平成30年6月に「新たな都市拠点及び交流エリア基本構想」を策定し、国道41号沿線に位置し、本市の玄関口ともなりえるこの地区に、**現状の法規制において進めることが可能**であり、近年、様々な取り組みで地域活性化に寄与している「道の駅」を整備することで、この地区への**商業施設の立地を促進し、市民生活の向上、税収増による財源確保**を図るねらいです。



## 2. どんな道の駅ができるの？

### 道の駅の施設



具体的な内容については現在検討中です。多様な分野の可能性を模索し、産直市場やレストランなどのよくあるイメージにとらわれない、新しい展開を今後検討していきます。

また、整備にかかる市費をできる限り抑制するよう、民間の独立採算による施設整備を目指します。

これらを実現するため、民間によるアイデア、ノウハウを最大限に活用していきます。

## 3. 現在の取組状況

H30.9月

官民連携のためのサウンディング調査

H31.4月

基本計画の策定に着手

H31.4月

犬山市道の駅整備検討委員会の設置

R1.5月

第1回検討委員会を開催

### 今後の予定

R1年度 基本計画の策定  
R2年度 事業者選定  
R3年度 設計、用地買収  
R4年度 整備着手

## 4. 道の駅の先にある展望

### 「道の駅」は可能性を広げる第1歩

まずは、国道41号南側の区域に今後4年程度で道の駅の整備に着手し、それを突破口に周辺の民間開発を促します。その最大のねらいは、犬山の弱点である商業振興による市民生活向上と、土地利用の転換に伴う固定資産税収入の増加です。これにより次のまちづくりの財源を確保し、それを財源として15年後程度を目標に五郎丸駅整備の準備に着手し、国道41号北側の区域でさらなる商業立地、住宅開発などの展開を図り、地域活力に溢れた、持続可能なまちづくりを目指します。

最新情報はこちら

<https://www.city.inuyama.aichi.jp/shisei/keikaku/1005922/1005698/index.html>

発行：2019年8月 発行元：都市計画課（市役所2階） お問い合わせ：☎0568-44-0330 📧080100@city.inuyama.lg.jp



# 犬山市「道の駅エリア」基本計画 かわらばん

<理想を100としたとき道の駅は可能性を広げる第1歩となる>

Vol.2

市では現在、道の駅の整備を目指して、道の駅エリア基本計画を策定しています。今回、第2回犬山市道の駅整備検討委員会を開催し、道の駅のコンセプト、整備方針などについて議論を行い、その内容を決定しました。

## 1. 道の駅のコンセプトを決定

### 可能性のトビラを開き、地域活力を創造する 『(仮称)道の駅いぬやま』

#### ～コンセプトの考え方～

第5次犬山市総合計画(改訂版)は『可能性のトビラを開く』というタイトルで策定されました。これは、社会の変化をチャンスと捉え、活躍の場づくり、定住促進、産業の活性化を柱に、「民」がもっと力を発揮できる『可能性』を示したものです。中・長期的なまちづくりの展開に向けて、この道の駅が可能性を広げる一步目の事業となります。この道の駅を中心に、“ひと”が学び、遊び、交流を生み出し、新たな“こと”を展開し、“まち”の活力を創造することで、市全体の多様な暮らしを実現します。

## 2. 整備の基本的な方針

### 1 道路利用者への快適なサービスを提供する場

国道41号の道路利用者の安全な交通に寄与し、来訪者に快適な利用環境を提供します。

### 2 地域の新たな活力を創造する場

都市の求心力向上を目指し、新たなまちづくり拠点にふさわしい道の駅を構築します。

### 3 地域の魅力発信と市民の愛着を醸成する場

犬山に住みたい、訪れたいと感じる魅力の発信と、市民の生活の質、満足度の向上を図ります。

### 4 地域資源の利活用を促進する場

地域の潜在力を活かしたモノ・サービスを展開するとともに、新たな付加価値を創出します。

この方針を実現する取組として**民間活力を最大限に活用**します。

## 3. 今後について

第2回検討委員会では、コンセプト・方針を立案する過程において整理した道の駅エリアの役割について、どんな機能を道の駅に盛り込むのか、また、観光、福祉、安心安全に関する多くのご意見をいただきました。次回、第3回検討委員会では、主に、道の駅の導入機能と施設規模について、第2回で決定したコンセプト・方針、意見を踏まえた議論を行う予定です。

最新情報はこちら

<https://www.city.inuyama.aichi.jp/shisei/keikaku/1005922/1005698/index.html>

発行：2019年8月 発行元：都市計画課(市役所2階) お問い合わせ：☎0568-44-0330 📧080100@city.inuyama.lg.jp

